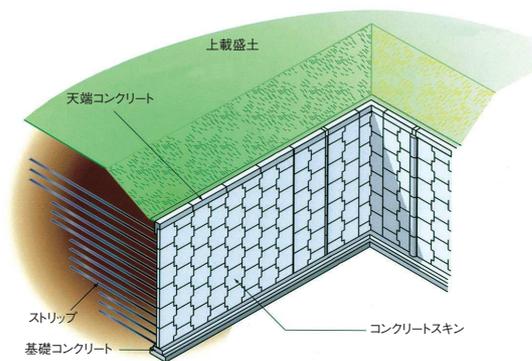


# テールアルメ



## 高い垂直盛土壁工法と景観性

土地の有効利用の実現を目指してフランスで発明されたテールアルメ工法は導入されて既に40年が経過しています。世の中の流れは効率優先から、自然との調和を大切にする環境重視の考え方へと移りつつあります。そうしたニーズにお応えすべくデザイン、着色、緑化等に配慮した製品造りを心がけています。

### 特長

- 1 垂直盛土のため、用地は最小限で済み、土地の有効利用が図れます。
- 2 規格化されたプレハブ工法の為、熟練工や特殊な技術は不要で、工期短縮が可能です。
- 3 従来の擁壁に比べ低コストで、高い垂直盛土ができます。
- 4 使用部材は、全て厳しい品質管理の下に、日本テールアルメ協会認定工場で作られる規格品ですので、現場では安心してお使いいただけます。
- 5 フレキシブル構造のため、基礎地盤への荷重は等分布となり、より広範囲な地盤条件にも対応できます。
- 6 規格品の組合せが大半を占める静かな工事で、一般に杭打ちなどを必要としないので、騒音や振動等はほとんど発生しません。
- 7 用途や環境調和等、目的に合わせたカラースキン、デザインスキンも製作できます。

## 施工例



## ジオシンセティックス素材を帯状補強材に使用し

- ・ 高腐食環境下での高い耐久性
- ・ 施工性／安全性の向上

## を実現したテールアルメ工法

従来のテールアルメ工法で使用される帯状鋼製補強材(ストリップ)の代わりに帯状ジオシンセティックス補強材(ストラップ)を使用する補強土工法です。一般的な用途の補強土壁としてだけでなく、水辺・沿岸部・融雪剤等による塩害の恐れがある箇所など高腐食環境下でも高い耐久性をもった補強土壁の構築が可能です。また、帯状ジオシンセティックス補強材(ストラップ)を使用することにより、補強材の軽量化(約1/10)を実現し、安全性・施工性の向上及び輸送時の環境負荷低減も可能となります。



帯鋼ストリップ



GSストラップ